

【コラム1】 〈中山間地域の将来像〉

天竜区協議会会長 進藤博行氏

中山間地域の将来像は希望に満ちています。

住民の思いはひとつ。「みんなでより素晴らしい中山間地域を目指したい」です。

豊かな自然環境こそが中山間地域の最大の魅力です。あふれる緑、澄んだ空気、心潤す清流。この自然の恵みから生まれる食材や郷土料理は、人々の心を豊かにします。

将来的には、都市部と中山間地域をダイレクトに結ぶ公共交通の充実が期待されます。これにより、都市部の文化施設へのアクセスが向上し、芸術やスポーツ、観劇など文化に触れる機会が広がり、それと同時に、伝統文化との融合から中山間地域独自の新たな文化が生まれます。

公共交通の充実は、医療機関への往来も容易にし、さらには都市部からの来訪者も増え、交流人口の拡大にもつながります。

このような中山間地域の生活環境は、こどもを育てたいと願う若い世代の移住を促進し、独自の教育体制も確立されるでしょう。若い世代と元気な高齢者の協働により、起業も盛んになり、第1次、第2次、第3次産業の新たな形が生まれ、6次産業化への道が開かれていくことが期待されます。

ますます多様化していく、これからの時代。様々な恩恵をもたらしてくれる中山間地域での生活は、明るい未来を示唆しています。この希望に満ちた将来像に向けて、地域全体で前進していくことが重要です。



天竜区春野町川上地区の住民との談笑
(写真左：進藤博行氏)